

令和8年度 港区政策評価シート

1 政策名・所管部門

政策No	8	政策名	環境に対する意識を高め、健康で快適に暮らせる生活環境をつくる
所管部	環境リサイクル支援部	関係部	

2 政策のめざす方向性

有害化学物質の適正管理や事業活動に伴う騒音、振動、悪臭などの低減に努め、誰もが健康で安全に快適に過ごすことができる生活環境を確保します。誰もがまちのルールを守り、快適に過ごすことができる良好な環境をめざし、区民、事業者など多様な主体との協働・連携による環境保全・美化活動を推進します。子どもから高齢者まで誰もが環境について気軽に学ぶ機会や情報提供を充実し、区民一人ひとりが環境に対する意識を高め、主体的に環境に配慮した行動を実践することができる地域づくりをめざします。

SDGsとの関係									
----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---

3 成果指標【政策について満足している区民の割合】

指標の推移		計画目標値	達成度 ※	※評価区分 A：達成（達成度が100%以上） B：相当程度達成（達成度が70%以上100%未満） C：未達成（達成度が70%未満）
現状値	実績			
令和2年度	令和7年度	令和8年度		
21.5%	44.5%	46.4%	B	

これまでの取組と成果	区民や事業者の主体的な行動を促す取組を工夫して開催するなど、誰もが健康で快適に過ごすことができる生活環境を確保するための施策に取り組みました。
------------	---

課題と今後の方向性 ※未達成の場合は原因分析を含む	これまでは区民や事業者向けを中心とした環境に対する意識啓発を実施してきました。今後は、区民等に加えて、外国人観光客や来街者にも環境に関する意識を高めてもらうよう、わかりやすい情報発信や啓発を進めることにより、多様な主体が環境に配慮した行動を実践することができる地域づくりを目指します。
------------------------------	--

4 施策の取組状況【施策評価結果】（詳細は別紙「施策評価シート」）

No	施策名	成果指標	施策評価
①	環境美化活動の推進	環境美化活動・キャンペーンへの参加者数	A
②	健康で安全な生活環境の確保	公害苦情件数	A
③	環境教育・環境保全活動の推進	各事業のアンケート結果において参加者が新たな学びがあったと感じた割合	A

5 予算額・決算額・執行率（単位：千円）			
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算額	1,035,083	1,000,568	1,059,115
流用・補正	△82,652	△13,134	-
決算額	905,190	926,541	-
執行率	95.40%	93.83%	-
6 政策を取り巻く社会経済情勢等			
計画期間中の社会経済状況等の変化 ・社会経済状況、人口動向、財政状況、国や東京都等の動向など	コロナ禍が明け、集合形式のイベントや活動が再開されました。		
区民ニーズ等 ・区民意識調査 ・区民から寄せられた意見 など	路上喫煙やごみの投棄についての対策強化を求める声が多く届いています。		
7 所管課による評価【一次評価】			
政策の達成状況	すべての施策について目標値を上回る見込みとなっています。政策全体としても、令和2年度の当初指標からポイント数が大きく増加しており、区民満足度の向上に取り組むことができます。		
達成状況の要因 ・施策の有効性が高かった点 ・施策の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	・施策「環境美化活動の推進」の環境美化活動への参加者数については、個人、団体の双方への働きかけを行った結果、主体的に活動に参加する人を増やすことができました。 ・施策「健康で安全な生活環境の確保」の公害の苦情件数の減少については、工事開始前等に現場確認を行い事業者へ適切に指導することで、苦情発生の抑止につなげることができました。 ・施策「環境教育・環境保全活動の推進」の参加者の満足度の向上については、体験を充実させるとともに、知見のある指導員を配置するなど内容を更新することにより達成しました。		
課題と今後の方向性	来街者の増加や再開発に伴う工事の増加、過去に類を見ない気候変動など、区民の生活環境をとりまく状況は毎年大きく変化しています。今後、区民、事業者、来街者など、それぞれが主体となって環境に対する取組ができるよう、様々な機会を捉えて働きかけてまいります。		
8 港区行政評価委員会による評価【二次評価】			
評価	A：政策目的を達成		
政策の達成度	・成果指標「公害苦情件数」については、建築工事現場に関する苦情が多くを占めています。 ・全ての施策について、順調に進捗していることが認められます。 →以上を踏まえ、評価は「A」とします。		
MINATOビジョン策定に向けた今後の政策の方向性 ・重点的に取り組むべき施策 など	・公害苦情と工事件数との関係性を明確にし、改善に取り組む必要があります。 ・成果指標「公害苦情件数」について、道路管理者が異なる場合にその対象が区ではなくなるなどから、より適切な指標に見直す必要があります。 ・成果指標「環境美化活動・キャンペーンへの参加者数」について、区内に設置されている喫煙所は密閉型でないところも多く、環境改善が必要と考えられるため、こうした実態を捉えた成果指標を設定すべきです。		

施策評価シート

政策No	8	政策名	環境に対する意識を高め、健康で快適に暮らせる生活環境をつくる
施策No	①	施策名	環境美化活動の推進
目標・期待する成果	港区に住み、働き、訪れる誰もがみなとタバコルールを守り、望まない受動喫煙のないまちをめざします。また、区民、事業者等多様な主体との連携による環境美化活動が更に活発に行われ、快適に過ごせるまちをめざします。		
SDGsのゴールとの関係	  		
施策担当課	環境課		関係課

1 成果指標の達成度

成果指標①		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和8年度は見込み）			
		令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
環境美化活動・キャンペーンへの参加者数		1,401人/年	9,547人/年	10,616人/年	13,571人/年	14,000人/年	10,000人/年
	達成度	当該年度の実績と成果			課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和6年度	a	・各地区において、集合形式の清掃活動を積極的に実施しました。また、11月には「みなとクリーンアップキャンペーン」として、各地区総合支所と地域の町会、商店街、企業等が連携し、清掃活動やみなとタバコルールの周知啓発を行いました。 ・ごみ拾いSNS「ピリカ」の利用者も徐々に増えており、環境美化活動参加者数も10,000人に達しました。			様々な方に環境に対する関心を持っていただき環境美化活動に参加していただけるよう、SNSや掲示物等を活用した周知や、イベント等を活用した啓発活動を継続していく必要があります。		
令和7年度	a	・令和6年度同様、各地区において、集合形式の清掃活動を積極的に実施しました。また、11月に「みなとクリーンアップキャンペーン」を行い、清掃活動やみなとタバコルールの周知啓発を行いました。エコライフフェアなどのイベント時にも周知啓発を行いました。 ・環境美化活動参加者数も2年連続10,000人の目標値に達しました。			キャンペーンなどイベント時に環境美化に関する周知啓発を行うことで、様々な方に関心を持っていただいておりますが、今後はさらに、環境美化活動への参加につながるよう、SNS等を活用した周知や、ごみ拾いSNS「ピリカ」を活用した取組を分かりやすく周知啓発していきます。		
令和8年度	a	引き続き、各地区における集合形式の清掃活動を進めるとともに、11月のキャンペーンや、環境に関連するイベントの際など様々な機会を捉え周知啓発を行い、環境美化活動への参加を促進していきます。					

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）
c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

成果指標②		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和 8 年度は見込み）			
		令和 2 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	
	達成度	当該年度の取組と成果			課題と今後の方向性 （未達成の場合は原因分析を含む）		
令和 6 年度							
令和 7 年度							
令和 8 年度							

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）

c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

2 施策評価

評価	A：計画目標を達成できる
施策の達成状況	- 各地区の環境美化活動推進協議会等や、区内の団体・個人が積極的に清掃活動等を行ったことにより、目標に掲げる「快適に過ごせるまち」づくりを進めることができました。 - 施策の評価は、成果指標①が計画目標値を達成できる見込みのためAとしました。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	成果指標①「環境美化活動・キャンペーンへの参加者数」について、集合形式の環境美化活動が積極的に行われていることや、ごみ拾いSNS「ピリカ」の活用が広まり、団体や個人の清掃活動参加者数が見える化されたことにより、目標値を達することができました。
MINATOビジョン策定に向けた課題と今後の方向性	- ごみの持ち帰りに関して、特に外国人や初めて訪れる人に対する周知が不十分であるため、多言語表記等を活用した啓発物の整備を進め、分かりやすい情報発信を行うことで、ごみの持ち帰り意識の定着を図ります。また、事業者、地域団体等との官民連携を強化することで、ポイ捨てごみのないまちづくりを推進します。 - 依然として、路上喫煙及びたばこのポイ捨てが一定数見受けられるため、引き続き、みなとタバコルールの周知啓発を図るとともに、密閉型指定喫煙場所のさらなる整備を進めていきます。

A：計画目標を達成できる（成果指標（平均）の達成度100%以上）

B：計画目標を相当程度達成できる（成果指標（平均）の達成度70%以上100%未満）

C：計画目標を達成できない（成果指標（平均）の達成度70%未満）

施策評価シート

政策No	8	政策名	環境に対する意識を高め、健康で快適に暮らせる生活環境をつくる
施策No	②	施策名	健康で安全な生活環境の確保
目標・期待する成果	騒音、振動、悪臭などの公害について、法令等に基づき、事業者等を適切に指導するとともに、苦情に対しては、地域の課題として、各総合支所で状況を正確に把握し、解決に向けて速やかに行動することで、健康で安全な生活環境の確保をめざします。		
SDGsのゴールとの関係	 		
施策担当課	環境課		関係課 各支所協働推進課

1 成果指標の達成度

成果指標①		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和8年度は見込み）			
		令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
公害苦情件数		543件/年	360件/年	294件/年	291件/年	270件/年	270件/年
	達成度	当該年度の取組と成果			課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和6年度	a	解体現場等における騒音・粉じん等の対策のために、工事開始前に立入検査を行いました。騒音等の公害が発生しやすい施設については、大きい音が発生する機器等の設置位置や、騒音の予測値について指導を行ったことにより、苦情件数の減少に寄与しました。			公害苦情の早期解決には、各総合支所協働推進課や建築課との情報共有が重要です。今後も工事開始前の立入検査や事前相談を継続し、解決に向けた対応の経過の情報を共有することで、公害苦情件数の更なる減少に取り組めます。		
令和7年度	a	解体工事等に伴う騒音・振動・粉塵対策のため、工事開始前に現場確認を行い、事業者には適切な現場管理の徹底を指導することにより、苦情件数の抑制に努めました。			令和7年度の区内での解体及び建設工事の件数は令和6年度と比べ増加しましたが、苦情件数は減少しました。更なる苦情件数の減少に向け、工事開始前の立入検査や事前相談を継続してまいります。		
令和8年度	a	引き続き、解体工事等の事業者には適切な指導を行うとともに、公害苦情発生時には迅速な対応に努めてまいります。					

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）
c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

成果指標②		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和8年度は見込み）			
		令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	達成度	当該年度の取組と成果			課題と今後の方向性 （未達成の場合は原因分析を含む）		
令和6年度							
令和7年度							
令和8年度							

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）

c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

2 施策評価

評価	A：計画目標を達成できる
施策の達成状況	・公害苦情に対し、各総合支所協働推進課及び環境課が連携して解決に取り組むことにより、目標に掲げる「健康で安全な生活環境の確保」づくりを進めることができました。 ・施策の評価は、成果指標①が計画目標値を達成する見込みのため「A」としました。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	成果指標①「公害苦情件数については、建物の解体等の件数が年々増加している中で、解体等事業者に必要な現場管理の徹底を指導を行うとともに、苦情に対して迅速かつ丁寧に対応することで、苦情発生を抑止につなげられたこと等が目標達成要因と考えられます。
MINATOビジョン策定に向けた課題と今後の方向性	区内では再開発等に伴う建物の解体や新築工事が年々増加していることや経済活動の活発化等により、工事騒音・振動や事業運営に伴う騒音・悪臭等の苦情発生につながる多くの要因が存在します。引き続き、解体工事等の際に現場確認を行い、事業者への適切な指導を行うとともに、苦情に対し迅速かつ丁寧に対応してまいります。

A：計画目標を達成できる（成果指標（平均）の達成度100%以上）

B：計画目標を相当程度達成できる（成果指標（平均）の達成度70%以上100%未満）

C：計画目標を達成できない（成果指標（平均）の達成度70%未満）

施策評価シート

政策No	8	政策名	環境に対する意識を高め、健康で快適に暮らせる生活環境をつくる
施策No	③	施策名	環境教育・環境保全活動の推進
目標・期待する成果	環境に関する様々な問題を自分の問題として考え、主体的な行動を促し、環境と暮らしの関わりを学ぶ機会を提供するとともに、多様な主体との協働や主体間の連携を支援し、環境保全活動を推進します。		
SDGsのゴールとの関係	      		
施策担当課	地球温暖化対策担当		関係課

1 成果指標の達成度

成果指標①		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和８年度は見込み）			
		令和２年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	
各事業のアンケート結果において参加者が新たな学びがあったと感じた割合		88.7%	96.0%	96.6%	99.6%	98.0%	98.0%
	達成度	当該年度の取組と成果			課題と今後の方向性 （未達成の場合は原因分析を含む）		
令和６年度	a	全国連携による環境学習では、富士市と連携し、富士市で初めての環境学習を実施しました。 また、エコライフ・フェアでは、新型コロナウイルス感染症の影響により来場者が減少する以前の令和元年度を超える4,730人が来場しました。各事業では、新たな学びがあったと非常に高い評価を得ています。			今後も区民の環境への理解を深め、環境保全への主体的な行動を促すため、環境学習やエコライフ・フェア等での内容を見直しながら引き続き各事業を推進します。		
令和７年度	a	白河市との環境交流では、mecc会員企業と連携し、区内企業の環境への取組を見学しました。 また、あきる野環境学習事業では、全国的なクマによる被害が増加したことをきっかけに秋冬の参加者が減少しましたが、あきる野市に助言をいただき、安全に配慮しながら全事業を実施しました。			成果指標は達成していますが、よりよい学習の機会を提供し続けるためには、内容の刷新や学びの要素を高めるための工夫が必要です。 また、暑さやクマ対策、森林整備に要する工事期間が必要なことから、安全・安心に配慮した実施時期や回数についての検討が必要です。		
令和８年度	a	あきる野環境学習について、滞在時間の延長、新たなプログラムへの変更などの工夫を行います。					

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）

c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

成果指標②		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和8年度は見込み）			
		令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	達成度	当該年度を取組と成果			課題と今後の方向性 （未達成の場合は原因分析を含む）		
令和6年度							
令和7年度							
令和8年度							

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）

c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

2 施策評価

評価	A：計画目標を達成できる
施策の達成状況	・体験による学びに積極的に取り組んだことにより、目標値を達成しました。 ・環境学習の内容を工夫し充実させることで、目標値の達成を維持する見込みのためAとしました。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	体験を充実させたり、知見のある指導員を配置するなど学習する内容を更新させていくことにより、新たな学びに繋がったため指標が増加しました。
MINATOビジョン 策定に向けた課題と 今後の方向性	地球温暖化をはじめとした様々な環境課題への気づきや行動の変容が得られる機会の創出となるよう、内容の工夫や学習要素の充実を検討します。

A：計画目標を達成できる（成果指標（平均）の達成度100%以上）

B：計画目標を相当程度達成できる（成果指標（平均）の達成度70%以上100%未満）

C：計画目標を達成できない（成果指標（平均）の達成度70%未満）